

令和6年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程〈一般入試〉入学試験（冬期）

試験 科目	専門科目B (行動学系)	講 座	人間行動学 行動生態学	研究 分野		受験番号 examinee number					採 点	
----------	-----------------	--------	----------------	----------	--	-------------------------	--	--	--	--	--------	--

受験番号を書きなさい。Write down your examinee number.

(7 枚中の 1 枚目)

次の①から⑤の条件に従い、以下の諸問題から計2問を選択して解答せよ。

- ① 問題番号（1から12）に記載されている研究分野名を参照し、志望する研究分野の問題2問を選択すること。
 - ② 問題番号（1から12）ごとに1枚の別紙答案用紙（6枚目と7枚目）を用いて解答すること。問題用紙ならびに答案用紙はその全てに、志望する講座を○で囲み、研究分野と受験番号を記し、答案用紙には選択した問題番号を明記すること。
 - ③ 複数の小問からなる問題番号を選択した場合には、解答ごとに最初に必ず小問の記号を記入すること。
 - ④ 辞書の使用は認めない。
 - ⑤ 日本語または英語で解答すること。ただし、指定がある場合はその言語を使うこと。
1. (基礎心理学) 3枚目をみよ。
 2. (基礎心理学) 以下の3つの用語について日本語で説明しなさい。それぞれの記号を冒頭に示すこと。
 - (a) 眼球の輻輳・開散 (vergence of the eyes)
 - (b) 第1種の過誤 (Type I error)
 - (c) 心電図 (electrocardiogram)
 3. (応用認知心理学) ヒューマンエラーの1つであるスリップの特徴を説明し、認知心理学的概念を用いてスリップの発生する過程を説明せよ。
 4. (応用認知心理学) 次の3つの用語について説明せよ。
 - (a) ワーキングメモリスパン課題 (working memory span task)
 - (b) ビジランス低下 (vigilance decrement)
 - (c) 認知的トンネリング (cognitive tunneling)
 5. (比較発達心理学) 乳児や幼児を対象にする発達研究の方法論は、成人を対象とした研究の方法論とさまざまな違いがある。それらの違いについて複数挙げ、なぜそのような違いが生じるのかを説明しなさい。またそれらの違いから考えられる乳幼児研究の方法論における難しい点あるいは気を付けるべきことも併せて説明しなさい。
 6. (比較発達心理学) 以下の用語を説明せよ。
 - (a) イマジナリーコンパニオン (imaginary companion)
 - (b) 原始反射 (primitive reflexes)
 - (c) 絵画語彙発達検査 (picture vocabulary test)
 - (d) 刺激等価性 (stimulus equivalence)
 - (e) ナチュラルペダゴジー (natural pedagogy)

令和6年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程〈一般入試〉入学試験（冬期）

試験 科目	専門科目B (行動学系)	講 歴	人間行動学 行動生態学	研究 分野		受験番号 examinee number					採 点	
----------	-----------------	--------	----------------	----------	--	-------------------------	--	--	--	--	--------	--

受験番号を書きなさい。Write down your examinee number.

(7 枚中の 2 枚目)

7. (行動生理学) 4～5枚目をみよ。
8. (行動生理学) 次の用語・人名について説明しなさい(人名については重要な学術的業績を説明すること)。
- (a) 神経伝導における全か無かの法則 (all-or-none law of nerve conduction)
 - (b) Joseph E. LeDoux
 - (c) 脳内自己刺激 (intracranial self-stimulation)
 - (d) 視床下部 (hypothalamus)
 - (e) パペッツの回路 (Papez circuit)
9. (行動統計科学) 次の5つの用語を簡潔に説明しなさい。なお、数式や図表を用いて答えてよい。
- (a) 1次独立 (linearly independent)
 - (b) 大数の弱法則 (weak law of large numbers)
 - (c) 条件付き期待値 (conditional expectation)
 - (d) 平均因果効果 (average causal effect)
 - (e) 因子分析モデル (factor analysis model)
10. (行動統計科学) 多変量解析法を1つ取り上げて、そのモデル、および、そのモデルのパラメータ推定方法を解説しなさい。また、そのモデルにおけるモデル選択問題について論じなさい。なお、数式や図表を用いて答えてよい。
11. (生物人類学) 霊長類ロコモーションの多様性について、生息環境および形態的特徴と関連させて説明せよ。
12. (生物人類学) *Homo sapiens* の拡散における寒冷地への適応について、形態的側面と文化的側面の両方の要因から説明せよ。

令和 6 年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程〈一般入試〉入学試験 (冬期)

試験 科目	専門科目 B (行動学系)	講 座	人間行動学 行動生態学	研究 分野		受験番号 examinee number					採 点	
----------	------------------	--------	----------------	----------	--	-------------------------	--	--	--	--	--------	--

受験番号を書きなさい。Write down your examinee number.

(7 枚中の 3 枚目)

1. (基礎心理学) 以下の英文を読んで、2つの問いについて答えなさい。

(問題文は、著書の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下のとおりです。)

出典 : American Psychological Association. (n.d.) *Attention*. In *APA Dictionary of Psychology*. Retrieved from <https://dictionary.apa.org/attention>

(a) 全文を日本語に翻訳しなさい。

(b) ここで書かれた内容の具体例を自身の研究テーマと関連づけて説明しなさい。

令和6年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程〈一般入試〉入学試験（冬期）

試験 科目	専門科目B (行動学系)	講 座	人間行動学 行動生態学	研究 分野		受験番号 examinee number					採 点	
----------	-----------------	--------	----------------	----------	--	-------------------------	--	--	--	--	--------	--

受験番号を書きなさい。Write down your examinee number.

（ 7 枚中の 4 枚目）

7. (行動生理学) 以下の図とその説明を参考としながら, 問 (a), (b), (c), (d) に答えなさい。

(問題文は、著書の著作権等に配慮し、省略します。なお、出典は以下のとおりです。)

出典：Ulrich-Lai, Y. M. et al. (2010) Pleasurable behaviors reduce stress via brain reward pathways. *Proceedings of the National Academy of Sciences of the United States of America* 107: 20529-20534.

<https://doi.org/10.1073/pnas.1007740107>. 図の説明は一部を削除した。

令和6年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程〈一般入試〉入学試験（冬期）

試験 科目	専門科目B (行動学系)	講 座	人間行動学 行動生態学	研究 分野		受験番号 examinee number						採 点	
----------	-----------------	--------	----------------	----------	--	-------------------------	--	--	--	--	--	--------	--

受験番号を書きなさい。Write down your examinee number.

(7 枚中の 5 枚目)

- (a) Fig. 1C および Fig. S1 に示されているホルモンの正式名称を日本語で答えなさい。そして、ストレス刺激に応じて、それらの血中ホルモンを増加させる生理機構・分子基盤を説明しなさい。
- (b) ストレス応答性の血中ホルモン増加とラットの事前経験との関係性について考察しなさい。
- (c) Fig. 1D の実験を行った目的とその仮定を想定し、説明しなさい。また、得られた結果から考察できることや未解明な点と考えられることについて説明しなさい。
- (d) 以上を参考にして、ストレス誘導性過食行動の背景メカニズムについて、行動科学・生理学・内分泌学の視点から論じなさい。

令和6年度大阪大学大学院人間科学研究科
 博士前期課程〈一般入試〉入学試験（冬期）

試験 科目	専門科目B (行動学系)	講座	人間行動学 行動生態学	研究 分野		受験番号 examinee number					採 点	
----------	-----------------	----	----------------	----------	--	-------------------------	--	--	--	--	--------	--

受験番号を書きなさい。Write down your examinee number.

(7 枚中の 6 枚目)

問題 番号	
----------	--

解答⇒

令和6年度大阪大学大学院人間科学研究科
博士前期課程〈一般入試〉入学試験（冬期）

試験 科目	専門科目B (行動学系)	講 座	人間行動学 行動生態学	研究 分野		受験番号 examinee number					採 点	
----------	-----------------	--------	----------------	----------	--	-------------------------	--	--	--	--	--------	--

受験番号を書きなさい。Write down your examinee number.

(7 枚中の 7 枚目)

問題 番号	
----------	--

解答⇒